

編集後記

昨年の秋、PT 協会の全国研修会が「理学療法における治療効果」というテーマで高知で開かれた。未だ旺盛なエネルギーを秘め高度な QOL を堅持してやまない砂原氏の基調講演の後、種々の角度から分科会形式で討議された。当然ではあるが、医療のどの分野においても「治療効果」というテーマはその根底に位置付けされている最も重大な課題である。したがって、この機会に本号の特集として、多少角度を変えてこのテーマを追試してみたいと考えた。

長年 PT, OT の仕事を身近かで観察して来られた長尾氏（リハ専門医）には第三者的立場から、PT, OT の治療効果および判定について述べて戴いた。簡潔なタッチではあるが、深い洞察力で論理的に展開して戴き十分な示唆を与えて戴いたと受けとめている。

鶴見、金子、関の三氏には同業者として

それぞれの視点から、特に治療効果に関して最近の研究報告にフォーカスして述べて戴いた。しかし、関氏の論文については、評価スケールが十分に標準化されていない段階ということで、そのシステム化に向けての予備的論理を中心に述べて戴いた。近い将来、行動変化をより客観的に捉える方法が見い出されることを祈りたい。いずれにせよ、どの論文も背筋を伸ばして読むほどの力作であったと思っている。

本号ではプラクティカル・メモのオン・パレードであるが、これも障害者の ADL を助け、「効果」の一要素となる重要な部分である。我々の仕事はその性質上一発勝負に賭けることは極めて少ない。小さい効力の集積をより大きな「効果」にして行く認識を持って日々の臨床、教育そして研究を大切にすることではないかと考える。

（奈良 勲）

* * *

理学療法と作業療法 (第20巻 第3号)

1986年3月15日発行（毎月1回15日発行）

1部定価 1,250 円（配送料60円）

（年ぎめ予約購読料 15,350円）
（ただし、特別増大号を含む）
（送料弊社負担）

発行 株式会社 医学書院
代表者 椿 孝雄

〒113-91 東京都文京区本郷5-24-3

電話 受付台 (03) 817-5600

本誌編集室直通 (03) 817-5703

（担当：西塚・細田）

販売部直通 (03) 817-5659・5660

広告室直通 (03) 817-5696

ファクシミリ (03) 815-7802

振替口座 東京 7-96693番

印刷所 ㈱学術図書印刷 電話(03)814-4961

広告申込所 ㈱医薬広告 電話(03)814-1971

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 1986,

Printed in Japan

本誌の内容を無断で複製・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となることがありますので御注意下さい。

<編集顧問>

天 児 民 和
九州労災病院名誉院長

五 味 重 春
東京都衛生局顧問

砂 原 茂 一
国立療養所東京病院名誉院長

津 山 直 一
国立身体障害者リハビリセンター病院長

（五十音順、以下同じ）

<編集委員>

上 田 敏
東大リハビリ部

荻 島 秀 男
ペインリハビリテーションクリニック高島平
整形外科

大喜多 潤
兵庫県リハビリセンター

寺 山 久美子
東京都立医療技術短大

富 岡 詔 子
信州大学医療技術短大

奈 良 勲
金沢大学医療技術短大

福 屋 靖 子
筑波大学

松 村 秩
都養育院リハビリ部

<編集同人>

池 松 洋 子

伊 東 元

岩 崎 テル子

宇都宮 初 夫

金 子 誠 喜

鎌 倉 矩 子

木 村 信 子

菊 地 延 子

小 嶋 裕

斎 藤 みち子

鈴 木 明 子

高 橋 正 明

田 口 順 子

橋 元 隆

古 川 宏

松 沢 博

宮 崎 和 子

宮 前 珠 子

山 田 貞 雄

矢 谷 令 子